

2年次 ファッションデザイン専攻 [専門課程]

自由に発想を広げ、自分なりのイメージを形づくる訓練を行います。基礎を固めたうえで個性を発揮するための知識と技術を学習します。服の種類からアイテムの構造、素材、平面作図やモデリングの基礎、縫製の技術などを徹底して身につけます。

	前期	後期	
共通理論	デザインという営み、およびそれと深い関わりをもつ思想、社会、文化、歴史など、デザイナーとして活躍するうえで必要な知識を学びます。	<p>文化論 日本の社会において歴史を通じて培われてきたデザイン文化や、それを支えてきた風土や身体のあり方を学ぶ。</p> <p>メディア論 いまこころは異なる地域・時期での使い方や、デザインやアートの実験的な利用を視野に入れて、創造的なメディア利用のかたちを探る。</p>	<p>人類学 個別の地域を超えて複雑に影響し合う、地球規模の文明システムの現在と、今後あるべきデザインを学ぶ。</p> <p>認知科学 私たちの身体のあり方や、認知や感覚のメカニズムを解き明かす工学的な視点を学び、デザインへの応用を探る。</p>
英会話	将来のデザイン活動に役立つ、英会話能力を身につけます。	<p>英会話II 将来のデザイン活動に役立つ英会話能力を身につけ、同時に発想を豊かにする言語への意識を高める。</p>	
日本語会話	将来のデザイン活動に役立つ、日本語会話能力を身につけます。 ※履修は留学生に限りません。	<p>日本語会話II 学校生活や就職活動に役立つ日本語能力を身につけ、日本語によるコミュニケーションへの理解を深める。</p>	
専門講義	ファッションの基礎となる歴史、色彩、材料、ファッション産業などについて学ぶと共に、ファッションに対する客観的な見方、考え方を身につけます。	<p>服飾美学 衣服の起源から現代に至るまでの服装の変遷を学び、ファッションの素養を高め、さらに素材の歴史や特徴も学ぶ。</p> <p>色彩・材料 色の理解を深め、服飾配色の上達を目指す。素材に触れながら、さまざまな材料の特性を理解する。</p> <p>ファッションビジネス ファッション産業の仕組み、仕事の内容、これからのファッション産業について考察する。</p>	
デザイン	社会・環境とデザインの関係の学び、基本的服種に対する理解を高めると共に、個々の発想、表現、クリエーション能力を引き出します。また、ファッションデザインを具現化するために必要な立体把握や技術など、理論に裏づけされた、総合的なデザイン表現力を養います。	<p>ファッションデザインII [ベーシック] ① 生活環境に添った衣服の形態を体系づけ、基礎アイテムの特徴を学び、総合的に考察する能力と表現力を養う。</p> <p>ファッションデザインII [クリエーション] ① さまざまな発想練習を通してデザインの創造力を高め、表現力とコミュニケーション能力を養うとともに個性を引き出す。</p> <p>ファッションドローイング 人体の動き、骨格、筋肉を知り、クロッキーの実習を通して、装着する衣服との関係をとらえる。彩色技法や素材の表現方法を習得し、デザイン画の表現力を養う。</p> <p>モデリングIIA ① 立体裁断の基礎を学び、平面と立体の関係を把握し、量感やバランス感覚を高める。</p> <p>モデリングIIB 平面作図の基礎を学び、平面と立体の関係を把握し、パターンの理解や構造線バランス感覚を養う。</p> <p>テクニク ① 衣服制作上の基本的な縫製技術を習得し、自らのデザインの表現力を高め、スカート・ブラウス・シャツ・パンツを制作する。</p>	

3年次 ファッションデザイン専攻 [専門課程]

自分自身の世界観を築き上げ、卒業制作へと向かいます。自分のブランドを立ち上げ、商品を企画立案し、製品化に至る流れを実習し、展示会までのプロセスを学びます。ゼミでは「着る」という普遍性をあらゆる面から考え、デザインを展開します。

	前期	後期
共通理論	デザインという営み、およびそれと深い関わりをもつ思想、社会、文化、歴史など、デザイナーとして活動するうえで必要な知識を学びます。	<p>デザインの視点A ① 情報技術の活用、企業経営への導入、販売・流通との連携、持続可能性やユニバーサル社会の実現など、さまざまな視点や問題意識からの取り組みを学び、社会で実際に機能しうるデザインのあり方を考える。</p> <p>デザインの視点B ① 情報技術の活用、企業経営への導入、販売・流通との連携、持続可能性やユニバーサル社会の実現など、さまざまな視点や問題意識からの取り組みを学び、社会で実際に機能しうるデザインのあり方を考える。</p> <p>デザインの課題 伝統からの解放と再活用、自由と平等の両立、新しさの追求と美しさの模索など、近代以降の社会でデザインが求められてきた役割や機能、デザイナーが長らく直面してきた根本問題について学ぶ。</p> <p>デザイン法規/デザイン・リテラシー 知的財産権の保護や活用、生産・創造過程におけるコミュニケーションなど、デザイン活動に欠かせない契約・調査・伝達などについての知識や能力を身につける。</p>
専門講義	ファッション産業についての理解を深めるために、ブランド設立や企画、歴史などについて学ぶと共に、ファッションに対する客観的な見方、考え方を身につけます。	<p>ファッション各論 ファッションの動向について、客観的な見方や考え方を学び、先見性のある視野を獲得する。</p> <p>商品企画論 ① ファッション市場の調査、トレンド、ファッション方向などの分析から、マイブランドの商品を企画・立案する。</p> <p>現代ファッション史 服装の変遷と共に、社会、思想、美意識がファッションにどのように影響し、また表現されてきたかを、豊富な資料を用いて学ぶ。</p> <p>ファッションコミュニケーション論 ① ファッション産業における専門知識を学ぶ。現状のアパレル業界の実態を把握し、これからのファッション産業について考察する。</p>
デザイン	社会・環境とデザインの関係の学び、商品企画力や、プレゼンテーション能力を高めるとともに、個々の発想、表現、クリエーション能力を引き出します。また、ファッションデザインを具現化するために必要な立体把握や技術など、理論に裏づけされた、総合的なデザイン表現力を養います。	<p>ファッションデザインIII ① ファッションの時代性、社会生活の方向、モードの本質などを把握し、企画力、造形力を高める。</p> <p>商品企画 ① マイブランドの商品を企画立案し、工業パターン、仕様書を作成後、縫製工場へ委託して製品化するという、アパレルの仕事の流れを体験する。</p> <p>トータルプレゼンテーション ① 企画立案し、作品発表に際して、資料や企画書のとらえ方、発表力など総合的なプレゼンテーション能力を高める。</p> <p>立体裁断 ① 立体裁断の技術を訓練し、シルエットやフォルムの表現力を身につける。</p> <p>アパレルパターンメイキングCAD (選択) アパレル産業で活用されているコンピュータ支援システムなどを学ぶ。</p> <p>リビングテキスタイル (選択) ① 生活環境の中のさまざまなテキスタイルデザインについて考察し、素材や機能などデザイン表現の幅を広げる。</p>
卒業制作	少人数によるクラス編成となり、教員の指導を受けながら、デザインの調査、発案、制作を自ら進めます。3年間の学習の集大成として、長期プロジェクトを展開します。 *2ゼミから1つを選択	<p>卒業制作 ① 藤田恭一ゼミ ゴルド エフ代表(ファッションデザイナー、ディレクター) テーマ 「創・纏・ファンタジー」</p> <p>眞田岳彦ゼミ 眞田造形研究所代表(衣服造形家) テーマ 「テキスタイル・衣服をゼロから手で表現」</p>
その他		<p>校外見学・校外実習 (年間) 通常授業以外の必修科目として、学生各自が自主的に行うもの。美術館やイベント等を見学し、そのレポート提出をする「校外見学」および、デザイン関連の公募・実務などへ実際に参加し、そのレポート提出をする「校外実習」がある。</p>